

○17番 梶原千聖奈君

今元中学校3年、梶原千聖奈です。私は、行橋市の特産品について質問します。

以前、行橋市を紹介しようというテーマの授業があり、私はその中で特産品について調べました。イチジクや牡蠣など有名なものは知っていましたが、その他にも桃やキウイなど、様々な特産品があることを今回初めて知りました。しかし、周りの中学生の間では、まだあまり知られていないと感じています。

行橋市の素晴らしい特産品を、もっと多くの人に知ってもらいたいのですが、市としては、この現状をどう受け止め、これからの政策について、どのようにお考えでしょうか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。特産品をどのようにしていくかというところですが、まず現時点としましては、ありきたりかもしれません。観光パンフレットを、これまでも作ってきたり、今後もそういった計画もございます。また、産業祭やシーサイドハーフマラソンで牡蠣汁を振る舞ったりということで、市内外の方々に、行橋市の海産物、牡蠣などをお知らせしているところでございます。

ただ、やはり議員ご指摘のように、特に若い方々向けに特産品といったもの、新田原で言えば、梨・桃・ブドウ・イチジク、最近では柿ですね、大きくてちょっとサクッとした柿、それからキウイで言えば、甘ういというのがございます。最近ではハウスでバナナを作っている方もいらっしゃいます。これは、まだまだ広く商品化できているわけではないのですが、徐々にこれが広がっていくことが考えられています。

ただ、そういった新田原がフルーツの産地だということ自体が、もういま市民の皆さん方、知らない方々が多いかもしれませんね。こういったところにつきましては、SNSももちろんですが、やっぱり今後いろいろと考えていく必要があると思っています。

例えば、一つ言うならば、何がしかのかたちで、仮に加工したものであったとしても、若い世代の皆さん方に知っていただく一番のやり方としては、やっぱり給食なのかなと、そんなふうにも考えております。以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

梶原議員。

○17番 梶原千聖奈君

市も課題に感じていることが分かりました。そこで提案なのですが、もっとたくさん

の人に特産品を知ってもらうために、例えば、多くの人の目にとまる、こすもっぺなどのイベントで、露店の方に行橋の特産品を使った食品などを販売・宣伝してもらうのはどうでしょうか。お店で特産品を買って食べられる機会があるとうれしいです。

また、私たちが普段使用しているT i k T o kやI n s t a g r a mなどのSNSを使って宣伝することはできないでしょうか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。まずSNS・I n s t a g r a mやT i k T o kを使うということは、これはもうマスト、絶対に使わなきゃいけないですよ。これまでも、こういったことをやってきていないわけではないのですが、もうちょっと頻繁にあげるだとか、そういったことはすべきなのかなと思います。

同時に、ぜひもしそういうのをあげたら、議員にもシェアなどしていただいて、拡散にご協力いただければと思います。各議員の皆さん方も、よろしくお願いいたします。

それから、これは本当にこすもっぺとか、そういったお祭りなどで広く知っていただくというのは、これは一つ戦略としては、ありなのかなと私も思いました。産業祭なんかでは、先ほど申し上げたように牡蠣汁だったり、この地域でとれたものをPRしたりするんですけれども、そもそも産業祭を知らない市民の方々もたくさんいらっしゃいます。そういった意味では、こすもっぺは、かなり認知度、知られているお祭りだと思いますので、こういった、こすもっぺなどを積極的に使って、行橋市の特産品をPRしていく。

それから、門司港のほうではバナナの叩き売りなどがありますが、つまり、ただ売ったりするとか無料で配布するとか、そういったことだけでなく、フルーツ掛けるエンターテインメント。バナナを叩き売り、例えば金額を会場の方に言ってもらおうオークションじゃないけれども会場とのセッション、やり取りをしながらバナナを上手に名人芸で売っていく、そういったものがありますけれども、例えばそういった取り組みもあってもいいのかもしれない。

また、後はやっぱり加工ですね。例えばイチジクとか梨とか桃、苺というのは、傷みやすいんですよ。じゃあどうするかというと、例えば加工して、かき氷のソースにするというのもありかもしれません。いろいろなやり方があると思います。ぜひともこれは、きょう、毎回私は言っているようなんですけれども、我々だけでは、もう知恵が足りないと思います。ぜひ、どうやったらうまくいくか、こすもっぺで見せる、紹介するにしても、どのようにやったら、より多くの方々が食いついてきてくれて、そしてどうやっ

たらそれが拡散されるのか。特にターゲットである若い世代にどうやったら広がるのか
というところまで掘り下げて、掘り下げて、一緒になって考えていただければと思います。
以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

梶原議員。

○17番 梶原千聖奈君

貴重な御意見、ありがとうございます。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。